

**令和3年度 第2回
市民と議会の懇談会概要**

**令和3年 11 月開催
宮 津 市 議 会**

市民と議会の懇談会－結果概要－

(令和3年11月開催)

1 班編成

班	構成議員	担当地区
1班	◎向山 禎彦 小濃 孝之 久保 浩 徳本 良孝 松本 隆 長本 義浩	府中、世屋、栗田 養老、日ヶ谷
2班	◎松浦登美義 河原 末彦 坂根 栄六 長林 三代 星野 和彦 横川 秀哉	上宮津、日置、吉津 由良、宮津

◎:班長 (※各会場とも、正副議長どちらか参加)

2 開催日時

日	時	場 所	担当	参加者数
11月16日(火)	19:00～20:35	上宮津地区公民館	2班	15人
	19:30～20:37	府中地区公民館	1班	9人
11月17日(水)	19:00～20:40	日置地区公民館	2班	14人
11月18日(木)	19:00～21:12	世屋地区公民館	1班	11人
	19:30～21:05	吉津地区公民館	2班	12人
11月19日(金)	19:00～20:34	栗田地区公民館	1班	33人
11月20日(土)	14:00～15:38	由良地区公民館	2班	8人
11月21日(日)	14:00～15:38	みやづ歴史の館	2班	8人
11月25日(木)	19:30～21:00	養老地区公民館	1班	11人
11月26日(金)	19:30～21:00	日ヶ谷地区公民館	1班	9人
計		10会場		130人

3 各地区の報告概要、意見等に対する宮津市の回答

- 第1班の報告 2～13 ページ
 第2班の報告 14～27

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月16日（火） 午後7時30分～8時37分
開催場所	府中地区公民館
出席議員	班長：向山禎彦 議員：小濃孝之・久保浩・徳本良孝・松本隆・長本義浩
参加人数	9人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算・令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	特になし
懇談会のテーマ 「女性活躍社会の実 現に向けて」	<p>市民：何をもって女性活躍とするのかが問われる。色々な行事に参加することが女性の活躍といえるのか。女性で優秀な人材は沢山いるが、現在、市内で女性が自治会長に就かれているのは1人だけである。今後、一人でも二人でも成り手があるとよいが、家庭等の事情もある。先ずは一定の人に活躍して頂かないと難しいのではないか。</p> <p>市民：民生委員や学童など福祉・教育関係に女性が担われていることが多い。また、民生委員が男性の場合、女性のお宅に伺うのも抵抗があり女性が適任という一面もある。どこをどう捉えて社会参画を促そうとするのか、それには女性にあらゆる情報を提供することが大事になると考える。</p> <p>市民：女性が参画し難いのは、先ず子育てから手が離せない。色々な集まりの場に子どもを連れていくことで限られる。また、仕事と家事をすることプラス女性参画となると、心身共に負担が大きい。各家庭内で分担システムが整わないと女性が地域社会で活躍するのは難しい。しかし、女性は様々な意見や考えを持っている一方で、自ら進んで取り組みますということが言えない一面があり、周りからサポート的に声かけされたり背中を押して頂くことで、活躍しようと思ってもらえるのではないか。</p> <p>議会：テレビ放映で、旦那よりも妻の稼ぎが多いことから、旦那が主婦業をされている家庭を紹介されていた。家庭内の役割分担などの生活環境を変えていくことで女性活躍の機会が増えると思う。いかに女性が外に出やすい環境づくりに変えていくかが大事である。</p>

意見等集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	・女性の活躍における家庭内の役割分担のあり方について
	産業建設福祉委員会調査・研究 及び参考事項	
	その他事項	
行政への地域からの 要望等		

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

1班班長 向山 禎彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月18日（木） 午後7時00分～9時00分
開催場所	世屋地区公民館
出席議員	班長：向山禎彦 議員：小濃孝之・久保浩・徳本良孝・松本隆・長本義浩
参加人数	11人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算、令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>市民：副業人材とは、正職を持つ方が副業をしても良いという事業のことか。</p> <p>議会：都会で定職を持たれている方で、宮津市内のまちおこし等に関わる方を全国から副業人材として募集し、6名の方が週末を利用し各地区に入って調査し提言等をいただいているもの。</p> <p>市民：「宮津の新たな学びの創造事業」での通信費は利用者負担であり、その同意書を求められたが、通信費用など示されず同意書を求められた。この内容において議員間の質疑等はなかったのか。</p> <p>議会：通信費について、就学援助を受けている方は、就学援助費の中で支給されるとの理事者の説明があった。その上で、一体どのくらいの通信費がかかるかとの質疑はあり、明確には示されていないが就学援助制度に係る補助金が、令和4年度の国の基準額で年間15,000円という額が示されていることから、それ以内の通信費に収まると考えられる。</p> <p>市民：就学援助を受けている家庭は何件あるのか。</p> <p>議会：援助を受ける区分によって異なるが、小学校児童、中学校生徒ともに、100人以上受けられている。</p> <p>市民：水道事業の窓口業務が民間委託になったが、その効果は。</p> <p>議会：人件費と検針業務委託に係る事業効果として、削減額が2568万円である。また、収納額は1025万円の増で、合計金額は3593万円である。委託の契約金は3009円で、3593万円との差額は584万円である。また、令和3年1月から3月までの値上げ分を差し引いても428万円であり大きな財政効果を生み出しているものと認識している。</p> <p>市民：有害鳥獣処理施設の運営では、今年の5月から稼働し6月</p>

	<p>には凄い臭いがしていた。それ自体が悪臭防止法違反になっている可能性が極めて高い。また、約束事項のレベル 20 に対しての基準センサーレベルの測定もされていない。処理機械のレベル 20 は、当初、了承した「処理量 80 キロ：2000 リットルタイプ」のものとは異なり、今年の 8 月に機械の処理量が 160 キロの 4000 リットルタイプのものであることが分かった。偽証の追及をしていただきたい。</p>
<p>懇談会のテーマ 「女性活躍社会の実現に向けて」</p>	<p>市民：現状から改善までの手立てを考えることは大事なことだと思うが、そもそも自分たちが育つ環境において、男女の役割分担のようなものが必然的に組み込まれている様相がある。意識的に女性活躍社会へと変えていくことは大事だが、子どもたちの教育の中にそのようなことを盛り込んでいくことが必要だ。また、同じ仕組みの中に盛り込むことが必ずしも男女の平等ではないと思うので、それぞれが「生きやすい・活動しやすいということはどういうことなのか」等の仕組みを考えていける教育にしていくことが大事であると思う。</p> <p>議会：必ずしも男女ということだけではなく、個人の価値観をどう高めていくのか、また、社会の中でどう変えていくのかだと思う。</p> <p>市民：現在、世屋地区では、女性が自治会長・民生委員などを担っているが、女性の活躍をクローズアップした時に、女性の自立心を求めることであって、何かの役割についていなくてはおかしいという話ではないと思う。例えば、地域社会での役はできないが農業で活躍されている方もいる。</p> <p>議会：地域行事の参画や役職等に限らず、女性がグラウンドゴルフなど余暇を楽しみながらリーダーになっても良いと思う。出向きやすい、参加しやすい環境づくりにしていただくことが大事である。また、それぞれの立場でどのように関わりを持つのか枠にはまったものではない。</p> <p>市民：女性参画は地域性もあると思うが、一定、目標を立てないといけないことがあると思う。賃金の問題や学童が有る学校区ばかりでないので、働く親にとっては仕事と子育ての両立を考えると大変である。本日の集まりも一番出にくい時間帯でもある。また、コロナ禍のため、リモートなどで実施していただければ有難い。多様性ということもあるが、自分で目標を持ち意識を変えていかないことには解決しない。</p> <p>議会：今回の懇談会は、強制ではなしに声をかけ持たせて頂いた。効果等を見て時間帯も含め、来年度もより参加しやすいよう</p>

		<p>考えていく。また、女性の役割など固定概念があると思うがそれに捉われず変えていく、できることは何かをしっかりと整理していくことが大事であるとする。</p>
意見等集約結果	総務文教委員会調査・研究及び参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の活躍において、働く女性は、学区に学童保育がなければ仕事と女性活躍の両立は難しいとの意見があり、学童保育のあり方について
	産業建設福祉委員会調査・研究及び参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣処理施設の運営に係る現状把握及び実態調査について
	その他事項	<p>市民：冬季は下世屋小学校に寄宿舎があり、子どもが泊ることで親も安心した。このように時間的なロスが解消された時代があったが、今は再編により学校が遠くなった。地域にある学校の良さを見つめ直して、子どもたちのどういうところを伸ばしていくのかという根本を考えることが大事ではないか。</p> <p>議会：再編についての賛否は様々で、どちらが正しいかとの判断は難しい。先に再編内容についてルールを作るのではなく、その児童・生徒が希望する学校に通学するためのお手伝いをするという姿勢転換を考えるべきと思う。</p>
行政への地域からの要望等		

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

1班班長 向山 禎彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月19日（金） 午後7時00分～8時34分
開催場所	栗田地区公民館
出席議員	班長：向山禎彦 議員：小濃孝之・久保浩・徳本良孝・松本隆・長本義浩
参加人数	33人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算、令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	特になし
懇談会のテーマ 「地域公共交通」	<p>市民：タクシーを利用されている方の年齢層を掌握されているのか。栗田駅の階段を高齢者が荷物をもって移動できると思うのか。</p> <p>議会：車を運転できない高齢者の方と思う。また、栗田駅の跨線橋はおっしゃる通りの状況である。解決策にはならないが、200円タクシーを利用して田井のバス停まで行き、そこからバスに乗って宮津市街地まで行く方法もある。しかし、上司、小寺、中村に在住の方は200円タクシーが利用できないことになる。</p> <p>市民：運行前の時点から事情が分かっていると思うが、栗田駅の段差の解消において議員がしっかりと追及すべきではないのか。</p> <p>議会：高齢者など誰もが利用しやすい運行について、利用者の視点でどのような対応ができるかを考えていかねばならないと思う。この制度は行政と自治会が話し合っって開始した。問題点や課題が見つければ、議会も行政に改善策を要望していく。</p> <p>市民：バスを利用してどれだけ生活ができるかを試みたら、スムーズな乗り継ぎができないことに腹立たしくなる。観光客をメインにといわれるが、私たちの生活の足はどうなるのか。何のための地域公共交通なのだ。</p> <p>議会：昨年10月の運行開始から一年を経過したが、宮津駅での乗り継ぎ時間帯において利用困難の声を聴かせて頂いた。出来る限り早期に是正をしていくよう行政に意見等をしていく。</p>

意見等集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が栗田駅での跨線橋の移動困難について ・空白地の周辺地域における希望する目的地への乗降について ・宮津駅からのスムーズな乗り継ぎ時間帯の関係について
	産業建設福祉委 員会調査・研究 及び参考事項	
	その他事項	<p>市民：障害を持つ子どもの親御さんがいろんな事情によって居なくなり、残された子どもがお世話になるグループホームがある。このような受け入れ施設は他にもあるが、障害者手当では対応できない施設である。我が子も入所が叶い喜んでいるが、支援学校などに行くとそのような子どもさんが多くおられる。宮津市も財政状況が厳しいと思うが、国府とも連携し障害児が安心して入所できる施設を考えてほしい。</p> <p>議会：本市も財源がないからやらないのではなく、必要なことは進めていかなくてはならない。今後の課題として受け止め行政には改善策を訴えていく。</p>
行政への地域からの 要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・200円タクシーを利用するメリットがない。現在、スーパー等のお店がない。例えばミップルに行きたい人が、栗田駅まで行って段差のある跨線橋を移動して列車に乗り、宮津駅からミップルまでまた乗り換えていくことになる。栗田駅まで200円の利用料としたとき、多めに料金を払ってでも市街地まで行けるよう考えてほしい。 	

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長

徳本 良孝 様

1班班長 向山 禎彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月25日(木) 午後7時30分～9時00分
開催場所	養老地区公民館
出席議員	班長：向山禎彦 議員：小濃孝之・久保浩・徳本良孝・松本隆・長本義浩
参加人数	11人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算・令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>市民：水道料金が値上げになり約1年になるが、国民年金受給者は生活が大変である。宮津市も、どんどん税収が減り大変である。入ってくるお金が少なければ出ていくお金を抑えていくことが大事である。他の自治体ではボーナスを減らすとの声も聴くが、宮津市も財源を抑える意味からどう考えているのか。</p> <p>議会：財源が厳しいから何もしないと言うのではなく、既存の老朽施設等の維持管理においての無駄を排し、住民福祉の増進のために取り組む。また、議会も改善すべきところは協議し見直している。職員の給与等の処遇については議会側から言える立場ではない。</p> <p>市民：地方債残高において、一般会計、特別会計及び企業会計を合わせ、市が直接負担する借金が150億円相当と認識するが、どこで返していくのかをしっかりと考えていく必要がある。平成18年の行政改革では60億円の解消をして、現在の40億の財政健全化に取り組んでいるが、15年余り経過する中でかなりの人口が減少し基準財政需要額が減っていくことを考えると、平成18年よりも今の財政運営の方がより厳しい見方をせざるを得ない。</p> <p>議会：基準財政需要額、基準財政収入額から標準財政規模を考えると、多くても80億円余りになる。令和2年度113億円の予算は、既に30億円超過していることになる。今後、100億円相当まで予算を絞り込んだ財政運営が必要と考える。</p>
懇談会のテーマ 「持続可能なコミュニティづくり」	<p>市民：養老・日ヶ谷、世屋地区の橋北移送サービス(有償運送)は、これまでの行政運営の枝線路線と比較して3分の1程度の予算で効率的に運営ができた。高齢化が進むこの地域で、利用者を使いやすくするとともに、運営者及びドライバーの後継者確保など持続可能な形にしていかなければならない。</p> <p>議会：公共交通空白地有償運送は、行政のコストダウンをするた</p>

	<p>めに、地域に委ねているのではなく、交通空白地域の課題がある中で交通の足をどう確保していくのかが大事であると考え。</p> <p>市民：養老小学校の再編では統廃合にならなかったが、養老小学校区の児童が府中小学校を希望し数名通学している。特例で認めそのような事情になっているのか。また、このことを市から総務文教委員会への説明があったのか。</p> <p>議会：委員会に対しては説明等何もないが、令和4年度から養老小学校が府中小学校へ編入の話があり、2年前のアンケート調査で意見が二つに分かれ養老小学校が存続となった。養老小学校区の児童数名が府中小学校への通学について教育委員会に問い合わせたところ、文部科学省の指針に基づき教育長が判断され認められたもの。</p> <p>市民：現在、養老小学校も1年から6年まで3教室しかない状況である。教育権を担っているのは国であり教育委員会である。単に知識を学ぶだけでなく人と人とのつながりなども学ぶ必要があり、ある程度人数がいないと学ぶことができない。教育委員会が熱心に向き合い教育行政を全うしていただきたい。また、義務教育の段階で自主的に保護者が子どもの希望する学校に連れていくのはナンセンスだと思う。安心してスクールバスで登下校すべきである。</p> <p>議会：子どもの教育を今後どう担っていくか。児童一人では教育はできない、集団の中で競い合い学び成長する。現在、学校再編の賛否はあっても、子どもの教育を将来どうあるべきかを考えいくことが重要である。</p>						
意見等集約結果	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="223 1417 486 1608">総務文教委員会調査・研究及び参考事項</td> <td data-bbox="486 1417 1449 1608"> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な橋北移送サービス事業について ・学校再編での編入の賛否から変則的な通学の在り方について </td> </tr> <tr> <td data-bbox="223 1608 486 1798">産業建設福祉委員会調査・研究及び参考事項</td> <td data-bbox="486 1608 1449 1798"> <ul style="list-style-type: none"> ・水道料金値上げなどによる生活困窮者への対応について </td> </tr> <tr> <td data-bbox="223 1798 486 2033">その他事項</td> <td data-bbox="486 1798 1449 2033"> <ul style="list-style-type: none"> ・議会ホームページを検索すると、新しいことの掲載が遅い。情報は早く掲載すべきと思う。 ・第7次宮津市総合計画作成のための市民と行政との懇談会が開かれたが、議員は地域住民の状況や声などをどこまでつかんでいるのか。 </td> </tr> </table>	総務文教委員会調査・研究及び参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な橋北移送サービス事業について ・学校再編での編入の賛否から変則的な通学の在り方について 	産業建設福祉委員会調査・研究及び参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金値上げなどによる生活困窮者への対応について 	その他事項	<ul style="list-style-type: none"> ・議会ホームページを検索すると、新しいことの掲載が遅い。情報は早く掲載すべきと思う。 ・第7次宮津市総合計画作成のための市民と行政との懇談会が開かれたが、議員は地域住民の状況や声などをどこまでつかんでいるのか。
総務文教委員会調査・研究及び参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な橋北移送サービス事業について ・学校再編での編入の賛否から変則的な通学の在り方について 						
産業建設福祉委員会調査・研究及び参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金値上げなどによる生活困窮者への対応について 						
その他事項	<ul style="list-style-type: none"> ・議会ホームページを検索すると、新しいことの掲載が遅い。情報は早く掲載すべきと思う。 ・第7次宮津市総合計画作成のための市民と行政との懇談会が開かれたが、議員は地域住民の状況や声などをどこまでつかんでいるのか。 						

行政への地域からの 要望等	
------------------	--

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

1班班長 向山 禎彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月26日（金） 午後7時30分～9時00分
開催場所	日ヶ谷地区公民館
出席議員	班長：向山禎彦 議員：小濃孝之・久保浩・徳本良孝・松本隆・長本義浩
参加人数	9人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算、令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>市民：市税収入のうち、固定資産税が大部分を占めるといわれた。今は農業に従事しているが、農作業を止めると農地が山林となり固定資産税の収入が減ることになるが、強い農業づくり支援事業の効果はどうか。</p> <p>議会：複数人で立ち上げる農業法人などに機械の支援をすることで、効率よく生産拡大につながり、営農継続に向けた農業者への支援をするもの。</p> <p>市民：宮津市の新たな学び創造事業では、一人一台のタブレットを使い学びの授業をしているが、児童の扱う能力により差別的な個人差がつかないのか。</p> <p>議会：タブレットを取り入れ、全ての児童たちが使えるようにすることが大事であり、先生のサポートが重要と考える。</p>
懇談会のテーマ 「持続可能なコミュニティづくり」	<p>市民：日ヶ谷も人口減少と高齢化で、全ての人が毎年何らかの職責を担わなくてはならない。高等教育まで子どもへの支援をし、技術等を身に付け、里に帰り地域貢献するという流れづくりが遅かったと自覚する。一方、地域会議で興した「味工房」があるが、後継者の確保ができないと持続困難になる。</p> <p>議会：市職員が地域の声を代表するような位置づけにし、不利益にならないように行政の仕組みも知っていながら地元の声をしっかりと聞いてまとめることのできる人を育成していく等、地域との密接な関係づくりの必要性を感じる。</p> <p>市民：市民の声を聞くのが議員の役目ではないのか。</p> <p>議会：もっと密にして地域の人になったつもりで考えていくことが大事であると考えますが全て把握できないこともご理解頂きたい。</p> <p>市民：持続可能なものとして、市職員を地区に張り付け進めていけないかと前回の懇談会で言った。官民協働というのが民間は</p>

		<p>どう進めたら良いのか分からないため動き辛い。職員の頑張りに触発され地域住民も動くという行政からの働きかけが必要と思う。</p> <p>議会：現在は、地域会議において15万円支給可能とされている。上宮津など他地域も有効活用して地域コミュニティに生かしている。何かを始めるのに、給付金を生かしていただくこともできる。</p>
意見等集約結果	総務文教委員会調査・研究及び参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者等が衰退していく中、今後における市税（固定資産税）収入のあり方について
	産業建設福祉委員会調査・研究及び参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・日ヶ谷地区は、人口減少及び高齢化が極めて進行している地域であり、地域会議で立ち上げている「味工房」の継続においても担い手が乏しい。市民と行政との協働・共創の取り組みが必要であり、今後における対応策について
	その他事項	
行政への地域からの要望等		<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なコミュニティづくりを進めるうえで、行政と地域のコミュニケーションが取れるような担当職員の設置が望まれる。

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

1班班長 向山 禎彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月16日（火） 午後7時00分～8時40分
開催場所	上宮津地区公民館
出席議員	班長：松浦登美義 議員：坂根栄六・河原末彦・長林三代・星野和彦・横川秀哉
参加人数	15人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算・令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>市民：財政指標等で財政状況は分かると思うが、今まではどうだったのか。また、財政健全化に取り組まれているが今後の状況は。</p> <p>議会：以前から起債の総枠キャップ制を導入してきたが、公共施設再編などの計画がなかったため先送りになり施設整備の時期が重なった。そのため今後の行財政運営指針では公共施設等の投資的計画をもって施設整備など行っていく。議会としても同じ繰り返しはさせない。チェックしていく。</p> <p>市民：世界遺産登録に向けた状況は。</p> <p>議会：国の暫定リスト見直しの動きもあり、推移をみながら世界遺産登録に向けて取り組んでいる。</p>
懇談会のテーマ 「コロナ禍における 地域活動及び子育て 保育について」	<p>市民：昨年の上宮津保育所協議に関する要望や提言を提出されているが、地元と合意形成に至らなかった。これは、議会軽視にもなるのではないかと、意見を聞きたい。</p> <p>市民：子ども関係のことはもう少し寄り添って考えてもらいたい。</p> <p>市民：施設の裏には現在使われていた園児の方々がおられることを頭に思い描かれて対応してほしい。</p> <p>議会：議会として地元合意に至らなかったのは非常に残念であるが保育所をどうするかは地元との合意形成に努めることであり、議会軽視までとは思わない。</p> <p>市民：公衆便所などの現地調査をされているが地元関係者の意見は聞いたのか。</p> <p>議会：今回の調査は個別の施設をどうするかといった調査ではなく、宮津市全体の施設として議員が班に分かれ個別調査をして、その後議員全員で議論して提言にまとめたものである。</p> <p>市民：児童遊園の使われない遊具の安全管理は。</p> <p>議会：現地を回って危険なところは対応してもらった。</p> <p>市民：地域の各施設を地元がどこまで負担できるのか懸念があり、</p>

	<p>譲渡又は廃止の二者選択ではないという地元合意のもと進むよう市議会の役目を果たしていただきたい。</p> <p>議会：ご意見として承る。</p> <p>市民：支援教室が2学期からできたので喜んでいる。先生から来年度の継続は分からないと言われたので心配している。</p> <p>議会：こうした支援は縮小されないと思うが確認する。 (教育委員会に確認、継続される。)</p> <p>市民：国や府から言われてそれをこなしているような傾向があるが、議員はどのように思われているのか。</p> <p>議会：宮津市は財政健全化の中で自主財源も少ないが、将来展望を持ちながらもう一度観光地づくりや地域づくりの魅力を探しながら計画づくりをしている。国などで良い補助金があるのでそれをやるといった形でないと思う。</p> <p>市民：地域おこし協力隊と総務文教委員会との意見交換はどんな内容であったのか。</p> <p>議会：地域おこし協力隊の方の現状など意見交換を行った。</p> <p>市民：よそから受け入れるだけが定住促進ではなく高校生や大学生が帰れる場所を努力してほしい。</p> <p>市民：上宮津の風力発電の状況について、どうなっているのか。</p> <p>議会：業者が風力発電の調査をしたいと聞いたがその後は分からない。</p>
意見等集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項
	産業建設福祉委員会調査・研究 及び参考事項
	その他事項

行政への地域からの 要望等	
------------------	--

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長 徳本良孝 様

2班班長 松浦 登美義

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月17日（水） 午後7時00分～8時40分
開催場所	日置地区公民館
出席議員	班長：松浦登美義 議員：坂根栄六・河原末彦・長林三代・星野和彦・横川秀哉
参加人数	14人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算・令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	特になし
懇談会のテーマ 「コロナ禍における 地域医療の充実」	<p>市民：ワクチン接種など先生が丁寧に対応していただいた。診療所が無かったらワクチンを多くが接種できなかったのではないかと改めて実感した。今、統合に向けて検討されているが再検討する必要があるのではないか。施設の問題、民間経営の問題などある。府中以北に医療機関を存続させる方法を考えないといけない。</p> <p>議会：地域医療のあり方検討委員会において市全体の医療体制を検討している。しかし、コロナ禍で会議が持てていないようである。</p> <p>市民：昨年の懇談会でも診療所の問題を何とかしてほしいと多数の意見があったが、議会として動いていないのではないか。</p> <p>議会：市議会では、昨年の懇談会での内容を行政への要望として、橋北全体で医療が受けられる体制をお願いすると要望をしている。</p> <p>市民：宮津市は財政難で全ての施設など廃止にしているように思う。住民の命や健康など地域のくらしの大事なものは存続すべきである。それが行政ではないのか。何もかもなくすのではなく、住民の必要なものは残していくべきである。住民に分かる明確な方針がほしい。</p> <p>議会：そうならないように仮に施設が無くなる場合の対応策なども行政は検討会で議論している。しかし、市民の方にわかるような情報発信のやり方は工夫していく必要があるかもしれない。</p> <p>市民：日置診療所の件など地域の声を身近に議員が知り反映してほしい。</p>

	<p>市民：地域の課題などこまめな議員との懇談の場が必要ではないか。</p> <p>議会：市民と議会の懇談会で議論し、所管事務調査などで提言など行っている。また、公共施設再編及びまちづくり調査研究特別委員会などで取り組んでいる。ご意見は議会で議論する。</p> <p>議会：議会に対する要望などあれば議会事務局に言っていただけても対応する。</p> <p>市民：議会の内容をユーチューブで発信してほしい。</p> <p>議会：昨年からユーチューブで発信している。議会だよりに QRコードを載せたので観ていただける。</p> <p>市民：有害鳥獣の臭いの解決に向け、具体の取組は怎么样了か。</p> <p>議会：臭いの解消に全力に取り組むとの答弁であった。</p> <p>市民：施設導入時には臭いはしないと聞いた。しかし、現実に臭いはしている。もっと事前に調査すべきでは。</p> <p>議会：施設の製品は問題ないようである。当該施設は天井が低くこもりやすい。今、水を張った施設に臭気を閉じ込めるようにしている。</p> <p>市民：エール花火を昨年は日置でも打ち上げていただいた。昨年からお願いしていたが、今年は打ち上げてもらえなかった。本当に残念だ。日置の観光宿泊施設は、コロナでもたくさん来られている。観光地なのにもったいない。日置の地域も観光地としてとらえてさまざま取り組んでほしい。</p> <p>議会：ご意見として伺う。</p> <p>市民：ごみ処理施設の状況はどうなっているのか。</p> <p>議会：国のダイオキシンの基準はクリアしているが地元との基準値がオーバーした。</p> <p>議会：メタン発酵施設の処理水を利用してごみを燃焼させたばい煙を冷却している。その割合が多くて再結合してダイオキシンの発生につながっているのではないかと試験している。</p> <p>議会：宮津与謝環境組合議会で、徹底調査の要望を決議した。</p> <p>市民：宮津市と与謝野町で気候非常事態宣言の共同宣言をされているが議会としてまた、議員としてどのように思うか。</p> <p>議会：（全議員発言）</p>
--	---

意見等集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	
	産業建設福祉委 員会調査・研究 及び参考事項	
	その他事項	
行政への地域からの 要望等		・府中以北に医療体制の維持ができるようにしてほしい。

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

2班班長 松浦 登美義

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月18日（木） 午後7時30分～9時5分
開催場所	吉津地区公民館
出席議員	班長：松浦登美義 議員：坂根栄六・河原末彦・長林三代・星野和彦・横川秀哉
参加人数	12人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算・令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>市民：水道事業会計に一般会計から繰入しているのか。</p> <p>議会：企業会計なので基本、水道事業会計内で回している。令和2年度は水度料金の値上げをしたが、コロナ禍の生活支援策で10月分から12月分の3カ月分減免した料金分を一般会計から3,500万円の繰入をしている。</p> <p>市民：コロナ関係の国からの支援など2年間続いている。通常の決算とコロナ決算を分けて比較作成する必要があるのではないか。</p> <p>議会：新型コロナウイルス感染症対策事業23億2,430万3千円、生活支援対策（特別定額給付金、水道料金の減免、商品券配布等）18億3,591万1千円、子育て支援・教育環境充実対策（子育て世帯への給付金、教育環境整備等）2億178万円、経営支援対策（事業継続支援金、融資利子補給等）1億2,803万9千円などがコロナ関連予算で、それを引いた金額が通常予算になる。</p> <p>市民：黒字1億2,900万円と累積債務との関係をどのように考えればよいのか。</p> <p>議会：黒字だが、指標をみたときは厳しい数値となっている。</p> <p>市民：10億円の繰り出し金はどこに出しているのか。</p> <p>議会：特別会計に出している。国保に1億8,600万円・介護保険事業4億5,700万円・後期高齢者医療9億7,690万円・休日応急診療所775万円・上宮津財産区21万円であり、全て法定内繰入である。</p>
懇談会のテーマ 「地域課題について」	<p>市民：議員定数14名で欠員が1名、長期療養が1名いる。現在12名で議会運営ができるのであれば定数を12名にしても良いのではないか。</p> <p>議会：定数については議長中心に各会派の定数の考え方を議論している。前回改選時には、宮津市の将来展望も踏まえ類似団体の定数のあり方等も参考に議論して16名から14名の2名</p>

減とした。議員定数が少なければいいと言うことでもないと思う。宮津は南北に長く市民の声が届きにくく議会運営も難しくなるのではないかと思う。

市民：長期療養者の報酬は何割か減額されるのか。一般の会社であれば75%支給とかなるが。

議会：議員の任期は4年の報酬なので減額はされない。

市民：政務活動費は議員活動していなかったら削減するなどどうなっているのか。

議会：宮津市議会の政務活動費は会派へ支給である。実費であり、残額は返還している。

市民：議員1名減だが補欠選挙はないのか。

議会：議員の6分の1超の欠員3名で補欠選挙になる。

市民：水道料金の基本料金が高く改正された。公民館や集会所なども水道を使っていないのに金額が年額としたら大きくなっている。水道使用量に応じた料金区分に変えられないか検討してほしい。また、1人暮らしの方で、基本料金までいかない方がいる。基本料金が低い。

議会：宮津市の水道料金は10年間値上げしておらず、近隣で一番安い使用料であった。今後も安心して水を飲むためには老朽化施設の対応もあり、今後は5年毎に見直しされる。今のご意見は伝える。

市民：支援サービスの会議に2名出ている。課題は高齢者のごみだして、ごみ袋をもってステーションまでいけない。このことが地域全体に中々広がらないので議会でも取り上げて欲しい。

議会：生活支援コーディネータ宮津地区に1人、橋北地区に1人、南部地区に1人と介護支援員や民生員さんの協力を得ながら会議を進めていこうというところである。

市民：祭りの太刀ふり・神楽・神輿をになう子どもが少なくなっており伝統文化が廃れてくる。地域からだんだんなくなってくる恐れがある。他地域と連携をするような良いことが考えられないかと思うがどうか。

議会：宮津祭のまちなかでも人数は減ってきている。そうした中、女性はダメというところもあり、伝統文化の継承ができなくなる。他の地域にもお願いしたり自衛隊の方なども来ておられる。そうした他地域からの応援もこれからは大事ではないかと思う。

議会：大学生連携など関係人口を増やして祭りに参加してもらおう

		ことも大事だと思う。
意見等集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	
	産業建設福祉委 員会調査・研究 及び参考事項	
	その他事項	
行政への地域からの 要望等		

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

2班班長 松浦 登美義

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月20日（土） 午後2時00分～3時40分
開催場所	由良地区公民館
出席議員	班長：松浦登美義 議員：坂根栄六・河原末彦・長林三代・星野和彦・横川秀哉
参加人数	8人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算・令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>市民：ふるさと納税を特定の地域振興などに使える制度設計ができないか。例えば、由良の鳥獣被害に使えるなどピンポイントで活用できればもっと増えると思う。担当者はできないと言っていた。行政に検討させてほしい。</p> <p>議会：寄付ではないのでまちづくりとか文化芸術といった事業になるのではないか。ご意見として伺う。</p> <p>市民：ふるさと納税のチラシを持っているか。</p> <p>議会：チラシはつくっていないので持っていない。</p> <p>市民：宮津市の返礼品の割合は3割なのか。</p> <p>議会：総務省の通達で3割までである。</p>
懇談会のテーマ 「後継者の育成」	<p>市民：各地区で課題がある、仕事を持っているのに自治会長をやらなさいといけない。仕事も自治会長もとなるとプレッシャーがかかる。また、高齢者の方が何回も役員をやらなさいといけなくなる地区もあり非常に難しい。</p> <p>市民：宮津の人口減を止める方法を議員はどう考えているのか。働く場がない、高校を卒業して帰ってこれない。ご意見を聞きたい。</p> <p>議会：（全員それぞれの思いを話す）こうした思いは一般質問等で行っている。</p> <p>市民：議員それぞれの思いを聞かせていただいた、素晴らしいと思う。ぜひ頑張ってください。地域住民はよく見ている。人口減の取り組みを会派を超えてまずはこれをやってみようとして取り組んでほしい。</p> <p>議会：ご意見として伺う。</p> <p>市民：ふるさと納税や人口減少など議員の皆さんに頑張ってくださいとの意見があった。地元へ情報を発信してほしい。市長・議会・住民が一丸となる必要がある。市民全員に意識を高めることが大切である。</p> <p>議会：ご意見として伺う。</p>

	<p>市民：地域おこし協力隊の定住状況など残っている人の状況を調査してほしい。</p> <p>議会：今夏に懇談会をして意見を伺った。（議会だよりに掲載内容など説明）地域おこし協力隊の宮津市への定着率は高い方である。</p> <p>市民：由良の農業者が高齢化している。土地も小規模が多い中、機械はトラクタ・コンバイン・乾燥機などかなり高額であり、個人で農業はできない。高齢者が引退した後放棄地になる。特養では、外国人を雇用している。後継者対策にもっと力を入れてほしい。海洋高校もオリーブの搾りかすとヒトデを肥料にしようとするなど頑張っている。議員もそうしたところもよく見て頑張してほしい。</p> <p>議会：ご意見として伺う。</p> <p>市民：他府県からの移住の度合いが綾部市より低い。移住者が住みにくいのではないか。</p> <p>議会：宮津市ホームページもリニューアルして情報発信している。今後、旧前尾記念文庫の改修をして、テレワーク総合センターやUIターンサポートセンターも拡充し、取り組んでいく。令和2年度までの目標100世帯に対し、実績は96世帯189人の定住につながっている。</p>
意見等集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項
	産業建設福祉委員会 調査・研究 及び参考事項
	その他事項
行政への地域からの 要望等	

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

2班班長 松浦登美義

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和3年11月21日（日） 午後2時00分～3時40分
開催場所	みやづ歴史の館 大会議室
出席議員	班長：松浦登美義 議員：坂根栄六・河原末彦・長林三代・星野和彦・横川秀哉
参加人数	8人
議会報告の内容	9月議会（令和2年度決算・令和3年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	特になし
懇談会のテーマ 「女性参画と地域づくり」	<p>市民：女性参画と地域づくりとのテーマだが議会としての報告はないのか。</p> <p>議会：テーマは各地域（役員）で考えて決めていただいている。</p> <p>市民：他地域での懇談会での内容を知りたい。</p> <p>議会：地域医療や自治会役員の課題などさまざまである。</p> <p>市民：上宮津保育所の問題で、子育て・出産など保育所が地域にあることが大事。なぜ残すことができなかったのか。</p> <p>議会：議会では、「地元との合意形成を図って進めること」の要望書や提言を行った。</p> <p>市民：京都市は包括支援センターがあり、困りごとはそこに相談できた。宮津市もそうした窓口をつくってほしい。夫婦で体調が悪くなり市役所へ電話した時3か所にまわされた。総合窓口的な一か所で対応できるものをつくってほしい。</p> <p>議会：市民部との一本化はまだであるが、教育福祉総合プラザでは、窓口を一本化して対応している。以前から包括支援センターを設置しており、議会でもその所在を市民に周知するようになってきた。今回のご意見を聞く中でまだ十分に行き渡っていないと思う、再度周知をしてもらうよう執行部に伝える。</p> <p>市民：中国で天橋立の商標登録がされていると新聞に掲載されていたが対応をすべきだ。宇治の場合はお茶の協同組合が無効の取り消し申請をして認められた。宮津市も実害が出てからでは遅い。悠長なことを言っていないで取り消し申請をしてほしい。議会も進めてほしい。</p> <p>議会：中国の商標登録は、主に観光や店舗を中国内で規定する「43</p>

類」と加工食品等を規定する「29類」があり、今回はやや緩い43類のようだ。29類は、例えば天橋立の写真を使って許可なく販売することができないようなひどい内容である。現在、宮津市は京都府と相談し、対応を検討している。

市民：議会で女性が一人しかいないのは残念。

議会：ご意見として伺う。

市民：北部医療センターでは脳外科の手術ができない。この地域の総合病院なので命を助ける病院になるようにしてほしい。

議会：老朽化している北部医療センターの施設の建替えをはじめこれから必要とされる機能のあり方の検討会がある。その中で一定の議論があるのではないかと。

市民：子育て・保育への想いや女性参画についてみなさんの考えは。

議会：女性が会議で発言できる環境が大事と思う。宮津市は審議会などの登用を進めていくと掲げている。また、女性の参画の拡大は意識改革が必要である。議会では、先般、女性が議会へ参画しやすいよう出産・育児などでも欠席できるよう条例の改正をして対応を図っている。

議会：須津の女性は生き生き活動をされており、岩滝口駅ではほとんどサロンや高齢者のサロン活動など取り組んでいただいている。次世代が参画するにはどんな方法があるのか教えてほしい。

市民：子育て世代や子育てを終えた方は交流も少ない。活動に参加できる、グループに入れるという情報があれば参加する女性もいると思う。サロンに参加できるという情報を知らないだけかもしれない。年上の方から声をかけてもらえば入りやすい。情報が少ないのではないかと。

市民：自治連役員になって初めてこのような会を知った。有意義な会と思う。自治連での木村先生の講演や上宮津の取組みの研修では感銘を受けた。それぞれの立場でみな一生懸命されているが、市民に見えてこない。市民のみなさんにお知らせする工夫を是非してほしい。

市民：市の広報も議会もネットで発信されているが、どのくらいの市民が知っているのか。活動が分かる仕組みづくりに力を入れてほしい。

		<p>議会：宮津市もホームページのリニューアルをして情報発信に努めている。しっかりと取り組む。</p> <p>市民：今日のタイトルも具体的に項目をあげた方が良い。</p> <p>議会：参考にさせていただく。</p>
意見等集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	
	産業建設福祉委員会 調査・研究 及び参考事項	
	その他事項	
行政への地域からの 要望等		

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和3年12月22日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

2班班長 松浦 登美義